

タイトル 農業経営診断研修の開催
JA名 JA宮崎県信連

1 動機 (経緯)	<p>           本会は、昭和44年より平成元年までの21年間に農家経営指導のできるJA職員の養成を目的に、「農家経営調査研修」の名称で延べ145名を受入れ、3ヶ月をかけて金融全般、畜産簿記、営農技術、経営調査・分析手法等を修得させてきました。その後一時の中断を経て、昨今の農業情勢をとりまく環境激変による農家経営の悪化や、他業態による農業分野への攻勢等に対する危機感から、平成19年度より「農業経営診断研修」の名称で再開し、農家経営のコンサルタント能力を持ったJA職員を育成することで、組合員農家のニーズの充足、ひいてはJAの融資機能強化へと寄与させるべく取り組んでいます。         </p>
2 概要	<p>           当該研修は、年2回上期と下期に開催し、受講生の経験度に応じて、それぞれ6～7週間実施しています。         </p> <p>           研修は、本会研修室にて、少人数による、ほぼマンツーマンに近い状況で行われ、金融法務、税務、農業金融、農業簿記、経営分析・診断理論、演習、経営改善策策定等を履修、習得度合いを確認しながら効果の高い研修を目指しています。         </p>
3 成果 (効果)	<p>           平成19～21年度までの3カ年で6回開催し、7JAから12名が受講しました。受講生は、現在、経営支援部署、融資部署、営農指導部署等に在籍、最前線にて組合員への相談・指導業務にあたっています。         </p>
4 今後 の予定(課題)	<p>           研修の意義目的は理解されているものの、JAにとって職員の長期間の職場離脱が容易ではない状況から、受講生の確保に苦慮しています。今後は、連続開催から分割開催へと切り替えるなど、受講しやすい環境の整備を行っていきたいと考えています。         </p>